

## 5. 戒について

チベット仏教では戒は4種類、あるいは数え方によっては7種類あります。まず「帰依戒」です。これを受けると、仏教徒であることが正式に認められます。みずからの意志で三宝（仏・法・僧）に帰依することを師の前で申し上げ、師が法名（いわゆる戒名ですね）をくださいます。私は??（こんちよく・らぷてん・つおんどう）という名前をいただきましたが、「こんちよく」はディクン・カギユ派の弟子全員がいただく名前で、それ以下が固有名詞です。「らぷてん・つおんどう」は漢訳すると「堅固精進」で、全体としては「堅固精進居士」かな。ちょっとあんまりな名前だし、発音しにくいし、普段は使っていませんが、死んだら位牌に刻んでもらおうかなと思っています。

帰依戒をいただくと正式に仏教徒ですから、在家の五戒を守って暮らさなければなりません。すなわち、「不殺生・不偷盗・不邪淫・不妄語・不飲酒」です。ダライ・ラマ法王は、「お酒はほんとうはいけないですよ。でも、努力目標ということで、がんばってください」とおっしゃっていました。

「帰依戒」は一生に一回しか受けられません。もっとも、中には何度も受ける人もいますが、一回にして

くださいね。これにたいして「菩薩戒」は、ことあるたびに何度も受けることができます。大変なのは「三昧耶戒」で、灌頂を受けたときの菩薩さまとのお約束なのですが、比較的守りやすい内容のもの、たとえば「いつも菩提心を持って暮らすように努力しなさい」などありますが、守るのがとっても難しいもの、たとえば「毎日2時間のお勤めをせよ」などもあります。今回のリトリートは初心者用ですから、そんなに守りにくい三昧耶戒はないんじゃないかと思っています。

「具足戒」というのは、出家してお坊さんになるときの戒です。これにも何種類かありますが、われわれ在家にはあまり関係がありません。具足戒を受けると僧侶になり、250ほどの戒律を守って暮らさなければなりません。チベットのお坊さまはいまでもお釈迦さまが決められた通りの戒律を守って暮らしておられます。たとえば、殺生をしないとか、お酒を飲まないとか、女性と交わらないとかいうことです。日本の仏教も具足戒が復活して、戒律を守って暮らすお坊さまが復活すれば、生命を取り戻すと思っています。

「不殺生・不偷盗・不邪淫・不妄語・不両舌・不悪口・不綺語・不貪欲・不瞋恚・不邪見」を「十善戒」と呼ぶことがありますが、これは正確に言えば戒の内容であって、戒の儀式ではないので、上に挙げたものとは意味が

違います。「十善業道」と呼ぶのが正しい名前だと思います。「在家五戒」には「不飲酒」がありますが、「十善業道」には「不飲酒」はありません。だからお酒を飲んでもいいというわけでもないのですが。